



CAT.NO H20-5E

発泡スチロール再資源化減容機

(魚箱・発泡トレイ・PSTトレイ・梱包材・切削粉)

エコデンパッカー®

実用新案取得済



Eco Den Packer

EDP-1000S型基本形

オール電気仕様

ゆたかな環境と未来に貢献する



シグマ機器株式会社

エコデンパッカー®

電気式発泡スチロール減容処理機の本格派

発泡スチロールの減容機について、20余年の蓄積した技術を礎にこの度開発された『エコデンパッカー』は、**電気式による**低温密閉減容押出方式のため、**臭気・煙等は皆無**であり、屋外への排気筒は一切必要ありませんし、水は一切使用しません。発泡スチロール箱、発泡トレイは基より、PSトレイ（無色透明）にも適した減容機です。



波形プレート取り形
EDP-500S型

発泡スチロール投入方式

■ 基本形 手投入方式



■ コンベヤー方式



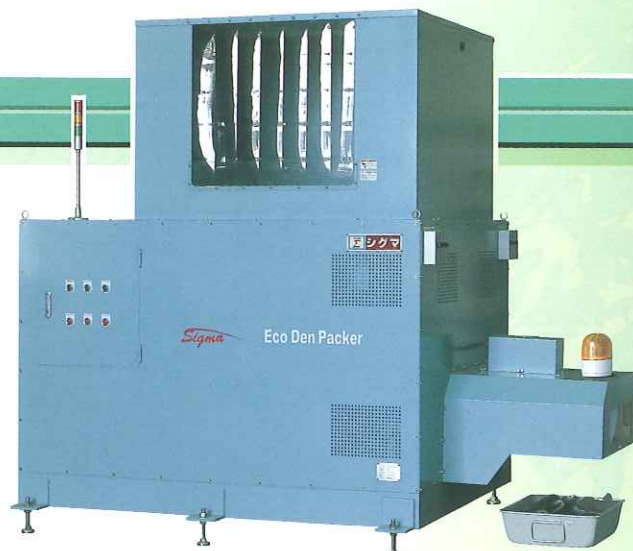
■ 破砕機付きエア－圧送方式



特 長

無公害性

低温密閉式減容押し方式の為、**臭気、煙等は皆無**に近くなっています。
但し、念のため脱臭ボックスは装着されています。



■オートカット形 EDP-800S型

操作性

電気のみ使用とし、機械の運転はON-OFFスイッチ操作のみとなっています。機械の構造は極めて簡単、シンプルイズベスト！です。

安全性

機械内部の攪拌室、スクリーン搬送室、には一切ヒーターはありません。密閉式スクリーン押出部と減容物吐出口のみに低温ヒーターを装備しています。

作業性

1. 投入は**連続投入方式**です。
2. 減容物取り出し方式は、**当社独自の波板プレート取出方式**が基本です。(受箱交換なし)
基本形はハンドカッター取りですが、別売りとして、オートカッター取り、ロータリーカッターによりボックス受箱取りや、カットチップをベルトコンベヤーにてフレコン袋へ連続取り方式も出来ます。
更に、投入を自動化すれば全自動運転も可能です。
3. 特に作業終了時の**機械内部清掃は不要**です。
4. 完全減容吐出の為、出口周辺での**微粉の飛散がありません。**

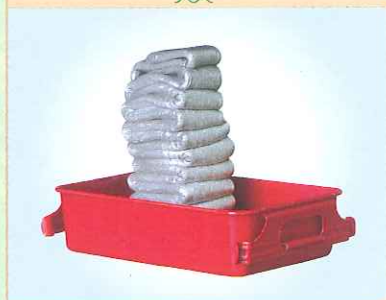
省エネ性

1. 押出スクリーンを大口径にして、強力加重による**圧縮押出方式**を利用し、**低温減容処理**を可能にしています。
2. 攪拌室の下に**スクリーンを設けて**それを交換することにより、魚箱と食品トレーの減容効率を上げています。

各種減容ブロック取り出し方法

基本形

EDP-000S



ハンドカッター取り

EDP-000S-HC



オートカッター取り

EDP-000S-HAC



ロータリーカッター受箱取り

EDP-000S-ACB



ロータリーカッターフレコン袋取り

EDP-000S-ACF



トレー容器 1 m³ ≒ 6 kg

$\frac{1}{40}$ 減容



発泡スチロール(箱) 1 m³ ≒ 5 kg

$\frac{1}{60}$ 減容

※どの形の減容ブロックも売却できます。
(当社買取)

↓ 波形プレート取り形・減容ブロック



↑ 出荷前減容ブロック

↑ 自然落とし込み形・減容ブロック



↑ オートカット形・減容ブロック(オプション)
ベルトコンベヤーにてフレコン袋へ



設置・処理例

■ EDP-500S標準型で手投入、
波形プレート取り例(T市場)



■ EDP-500S ⊕ 破砕機 ⊕ エアー圧送
⊕ 貯留ホッパー形例(A市場)



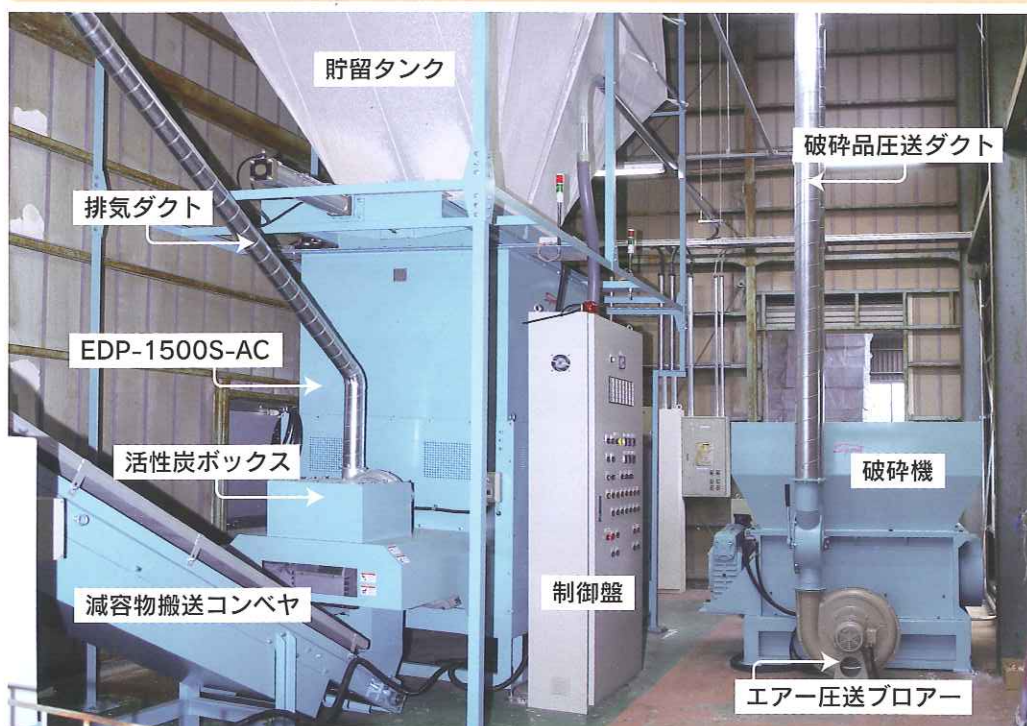
■ EDP-500S型を車載し、車上で
自然落とし込み形ブロックに減容例(S社)



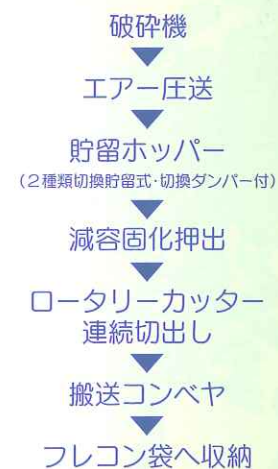
■ フルオートマチック処理例 投入コンベヤセット
EDP-1500Sライン(150kg/h実処理中 R社)



■ フルオートマチック処理例 EDP-1500Sライン(180kg/h実処理中 K社)



破砕機に投入するだけ



400~500kgで1度
交換するだけで良い

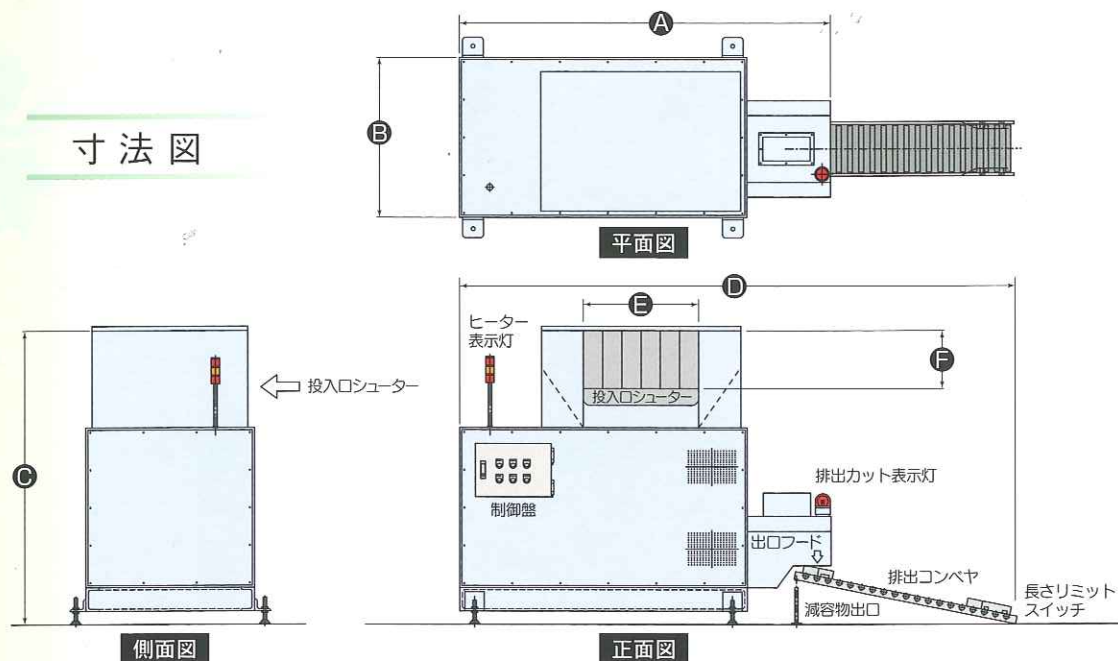
エコデンパッカー概略仕様

表中の **A B C D E F** は、
下の寸法図と対応しています。

EDP-200S	処 理 能 力	15(食品トレイ) ~ 20(魚箱)kg/h (3~4m ³)
	電 気 容 量	三相200V、9.9kw (定格)消費電力は別
	機械外形寸法	A 2400mm× B 860mm× C 1905mm× D 3620mm
	投 入 口 寸 法	E 562mm× F 252mm (可変 MAX 300mm)
	機 械 重 量	約 800kg
EDP-500S	処 理 能 力	50(食品トレイ) ~ 60(魚箱)kg/h (10~12m ³)
	電 気 容 量	三相200V、15.2kw (定格)消費電力は別
	機械外形寸法	A 2632mm× B 850mm× C 2072mm× D 3988mm
	投 入 口 寸 法	E 755mm× F 482mm (可変 MAX 530mm)
	機 械 重 量	約 1050kg
EDP-800S	処 理 能 力	75(食品トレイ) ~ 80(魚箱)kg/h (10~12m ³)
	電 気 容 量	三相200V、23.8kw (定格)消費電力は別
	機械外形寸法	A 3032mm× B 1540mm× C 2322mm× D 3988mm
	投 入 口 寸 法	E 762mm× F 612mm (可変 MAX 722mm)
	機 械 重 量	約 1950kg
EDP-1000S	処 理 能 力	80(食品トレイ) ~ 100(魚箱)kg/h (18~20m ³)
	電 気 容 量	三相200V、33.1kw (定格)消費電力は別
	機械外形寸法	A 3382mm× B 1540mm× C 2492mm× D 4302mm
	投 入 口 寸 法	E 762mm× F 612mm (可変 MAX 700mm)
	機 械 重 量	約 2200kg

※大型機種(EDP-1500S・2000S・3000S・4000S)は、別にカタログをご用意しております。

寸 法 図



注 (1)処理能力について

被減容物は乾燥状態である事。湿気をおびている場合には処理能力は低下致します。
但しオプションで、粉碎してエア圧送投入方式にすれば能力の低下はありません。

(2)被減容物の重量と体積の関係について

発泡スチロールの嵩比重を0.005として計算。発泡トレイは0.006として計算。(文献によればポリスチレンは0.91~1.02で、発泡スチロールは0.005~0.015とあるが当社としては実験的に上記の嵩比重を計算基礎としております。)

(3)消費電力について

実際の稼働時電力は、稼働中に蓄熱される為、加温ヒーターがON・OFFするので、**約60%に低下致します。**

関連機器 - 発泡スチロール用粉砕機(2軸噛込み式)



PSC-800型



PSC-1300型

破碎中
内部



大型発泡スチロール
投入コンベヤ

外形寸法	1300mm(W) × 2000mm(D)
モーター	0.2kw



概略仕様表

型 式	PSC-800型	PSC-1300型
破碎モーター	3.7kw - 4P 200V	7.5kw - 4P 200V
圧送ブローア	1.5kw - 2P 200V	2.2kw - 2P 200V
投入口寸法	800mm(W) × 400mm(H)	1300mm(W) × 460mm(H)
処 理 能 力	120kg/h	180kg/h
機械外形寸法	1907mm(W) × 1330mm(D) × 1904mm(H)	2467mm(W) × 1040mm(D) × 1750mm(H)
機 械 重 量	1600kg	2300kg

発泡スチロールの
直接ペレット化システム

エコ・ハイブリッドリサイクラー



減容物を固化せずに押し出しラインへ

「エコ・ハイブリッドリサイクラー」は、発泡スチロール等を**直接ペレット化**する機能と、**減容固化**(インゴット・板状・受箱)のみの状態で、装置の途中より取り出す機能を併せ持った、**ハイブリッド形リサイクルシステム**です。ペレット化する必要がない品物の例としては、PS、PE、混合物、色物、難燃性、食品トレイ等々で、ペレット化するには少量であり、採算的にメリットが出ないと判断された場合の品物の事です。しかし、これらの品物も減容固化状(インゴット・板状・受箱)にすれば充分売却出来る事と、置き場占有面積を減らす効果が得られます。



※別にカタログをご用意しております。



- (財)クリーンジャパンセンターより公害防止貢献企業として表彰状を授与される(平成元年)
- 群馬県知事より一社一技術企業認定される(平成14年)
- 群馬県知事より経営革新企業認定される(平成14年)
- 群馬県知事よりR/D(試作・開発)補助金認定される(平成14年)
- 発泡スチロール再資源化協会より発泡スチロールのリサイクル貢献企業として感謝状を授与される(平成18年)
- 群馬県知事よりR/D(試作・開発)補助金認定される(平成19年)

今、廃発泡スチロールは完全にリサイクルの時代です。

当社は減容機の販売と併せて、発泡スチロール減容固形物も再生品として責任を持って買取り致しております。

当社の発泡スチロール減容固形物の販売ルートは輸出向と国内向に多数のチャンネルを持っておりますので、20余年にわたり一度も中断される事なく続いております。

廃発泡スチロールのリサイクルは先ず発生現場で減容し、マテリアルリサイクルの原料化を計る事が最も経済的であると確信しております。



本社全景



新田工場

- お客様における廃プラスチックの減容テスト用として、実機を弊社に準備しておりますので、ご見学、処理品の減容テストの依頼がございましたら、お申し出下さい。

※本機の仕様は改良の為予告なく変更する場合があります。

製造元

シグマ機器株式会社

本 社 〒373-0012 群馬県太田市清原町6-3
TEL.0276-37-8366(代) FAX.0276-37-8363
新田工場 〒370-0314 群馬県太田市新田市野井町1540番地
TEL.0276-57-3646(代) FAX.0276-20-9089

お問い合わせは

●ホームページアドレス <http://www.ota-rc.e-arc.jp>

●Eメールアドレス sigmakiki@herb.ocn.ne.jp



本カタログはエコマーク認定の再生紙を使用しています。